

あかん支所だより

KUSHIRO City - AKAN Town Social Community Letter



阿寒町ボランティアのつどい 『心つながる地域食堂』 支え合うまちを目指して

3月2日(土)阿寒町公民館で阿寒町ボランティアのつどい『心つながる地域食堂』を開催しました。釧路地区のさまざまな地域食堂の取り組みについて学ぶとともに、阿寒町内の地域食堂の実践報告を聴くことで活動への理解を深めました。

食事を通じて子どもから大人まで多世代が集い、互いにつながり支え合う町づくりを考える機会となりました。

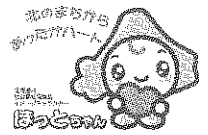
(詳細は5ページに掲載)

今号の目次

- 2p … 社協「会員会費制度」にご理解とご協力を!!
 - 3p … 令和5年度「会員会費」実績のご報告
 - 4p … たすけあいの広場
 - 5p … 阿寒町ボランティアのつどい終了報告
 - 6p … ボランティア情報局
- 新職員のご紹介・職員募集



「あかん支所だより」は、赤い羽根共同募金の一部助成を受けて発行しています。



社協の「会員会費制度」に ご理解とご協力をお願いいたします!!

社会福祉協議会は、「住み慣れた地域で最後まで安心して暮らせるまちづくり」のため、民間社会福祉活動・地域福祉活動の一層の充実を図ることを目的として、さまざまな事業を実施しています。これからも、社協の基盤を強化し、地域に根差した福祉事業を充実させていくため、個人・企業・団体・各町内会の皆様方に社協会員としてご支援ご協力いただきますようお願いいたします。

○ 社協の会員会費には2つの区分があります ○

①

■ 特別賛助会員 ■

1口 1,000円～

個人・法人(会社・商店)・団体の皆様に加入いただいています。

②

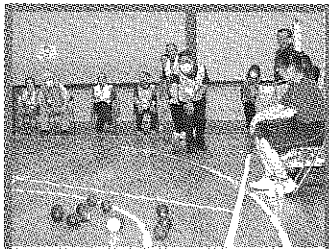
■ 賛助会員 ■

1戸 600円 (※1)

600円を基準として阿寒地区の各町内会に、当該年度の戸数に応じて加入いただいています。

※1) 各町内会の実情にあわせた金額で加入いただいております。

社協が進めている各種事業は、地域の皆様からの会費に支えられています!



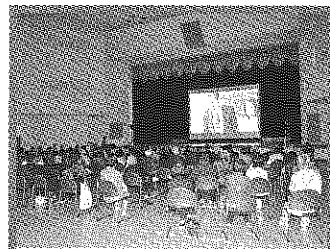
【阿寒地域福祉大運動会】

阿寒地域による世代を越えた交流を通して、健康維持増進と親睦を図ります。



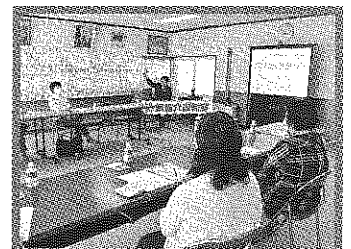
【阿寒町ふれあい広場】

誰もが等しく社会参加できる地域づくりを目指し「阿寒ふるさとまつり」内の企画として地域活性化を図ります。



【住民福祉活動事業】

阿寒地域の住民福祉活動研修事業を実施し、住み慣れた地域で最後まで安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを皆さんとともに考えます。



【小地域ネットワークの推進】

「たすけあいチーム」や「安心/トーン」による地域の声かけ・見守り活動と「いきいきサロン」による地域交流活動を促進します。



【ボランティア活動の推進】

「阿寒町ボランティアのつどい」などの研修や夏のボランティア体験、学校における出前講座を通して、福祉やボランティア活動の推進に努めます。



【福祉だよりの発行】

広報誌「あかん支所だより」を発行し、阿寒地域の福祉の現状や社会福祉協議会の事業について、町内全戸へ情報発信します。(年5回)

令和5年度 会員会費実績のご報告

昨年度も会員の皆様からのご支援をいただき、各種事業を推進することができました。深く感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

■ 特別賛助会員			
【法人会員】	65件 (381口)	381,000円	
【個人会員】	115件 (232口)	232,000円	
【団体会員】	4件 (15口)	15,000円	
■ 賛助会員	28町内会 (1,545戸)	491,090円	

会費総額 **1,119,090円**

● 会員会費制度についてのお問合せや、趣旨にご賛同いただきご協力をいただける方がいらっしゃいましたら、下記までご連絡をお願いいたします。事務所窓口にご来社いただいても対応いたします。

たすけあいの広場

社協は、行政や地域住民の皆様に支えられ誰もが安心して暮らすことができる福祉の街づくりに取り組んでいます。福祉やボランティアなどについてのご質問などございましたらお気軽にお寄せ下さい。



阿寒農業協同組合 女性部 軽スポーツ 「モルック」を体験

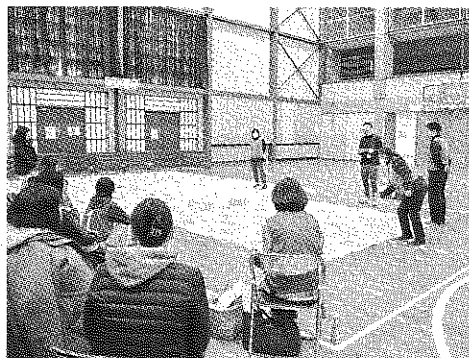
二月十五日（木）、阿寒農業協同組合女性部で軽スポーツ教室として「モルック」体験を行いました。

モルックとは、地面に立て並べられた複数の木製のピンをめがけてモルックという木の棒を投げ、五十点びつたりになるよう点数を競うスポーツです。

当日は参加者十五名が三つのチームに分かれ、交互にモルックを投げ合い順位を競いました。ルールが簡単で一見シンプルに見えるモルックですが、単に狙ったところにモルックを投げるだけでなく、どうやったら相手チームより早く五十点を取れるか等の駆け引きが必要です。また、世代を問わず参加でき、体を使う楽しさ・どのピンを狙うかという戦略・狙い通りに当てる技術がほどよく取り入れられています。

参加者からは「まっすぐ投げているつもりが、狙ったピンに当たらない。思ったよりも難しい！」などの感想が聞かれ、スポーツセンターのアーリーナが笑いと歓声で包まれました。

「地域の研修会・交流会でモルックをしてみたい」とご希望がありましたらぜひご相談ください。



▲「あと何点とればいい?」「あのピンだけ倒したいけど…難しい!」

▲小さなお子さんでも参加できます

釧路市公認介護予防サポーター養成講座のお知らせ

社会福祉協議会では、平成二十八年から釧路市委託事業として「介護予防サポーター養成講座」を実施しています。介護予防サポーターとは、地域の介護予防教室やサークル等で簡単にできる体操や脳活性化トレーニング（釧路市介護予防プログラム「わかがりレッスン」）等を行い、参加者の介護予防をお手伝いするボランティアです。介護予防に関する活動は、年齢に関係なく取り組むことができます。ぜひ介護予防サポーターとして一緒に活動してみませんか？

■お申し込みは社協阿寒支所（六六一四二〇〇）まで。

日 程	内容（全6講）
1 7月 2日(火)	講義、実技 (わかがりレッスン)
2 7月16日(火)	
3 7月23日(火)	
4 7月30日(火)	
5 8月中(2日間)	ボランティア体験
6 9月 3日(火)	講義、実技、修了式

釧路市社協阿寒支所 今年度の行事日程のお知らせ

令和六年度、阿寒支所で予定されている主な行事日程をお知らせいたします。

- ◇第三十八回阿寒町ふれあい広場
令和六年七月二十一日(日)
- ◇夏のボランティア体験・職業体験
令和六年七月下旬〜八月中旬
- ◇第八回阿寒地域福祉大運動会
令和六年八月二十五日(日)
- ◇ボランティア愛ランド北海道
令和六年九月二十八日(土)
- ◇阿寒地域住民福祉活動研修会
十月十九日(土)、十月二十日(日)
- ◇阿寒町ボランティアのつどい
令和七年三月一日(土)

※予定は変更となる場合がありますので、ご了承ください。

■お問い合わせ先

釧路市社会福祉協議会阿寒支所
☎六六一四二〇〇



▲令和5年度のふれあい広場の様子

「阿寒町ボランティアのつどい」

地域で取り組む多世代の居場所づくり

釧路地区食でつながるネットワーク

おの しのいち
会長 小野 信一 氏

きつさこイペ
かとう
代表 加藤 さゆり 氏

阿寒かぞく食堂「おかえり」

いしかわ よしみち
代表 石川 善道 氏

講演

実践報告



地域と未来を育む

三月二日（土）、釧路市阿寒町公民館において「阿寒町ボランティアのつどい」を阿寒町ボランティア連絡協議会との共催で開催しました。同協議会加盟のボランティアをはじめ行政関係者・民生委員児童委員に加え、今年度も「たすけあいチーム研修会」を兼ねての実施となり、ボランティアのほか町内会や地域づくりを共に行う地域住民総勢七十六名が参加しました。

前半は「釧路地区食でつながるネットワーク」の小野信一会長と「きつさこイペ」加藤さゆり代表から講演をいただきました。地域食堂は、子どもから高齢者まで誰もが地域で支え合って暮らす仕組みとして全国的に大きな広がりを見せています。食事を通して楽しくふれあうことで、孤独や孤立を防ぎ安心して暮らせる地域づくりにつながります。

釧路市内には十五か所の地域食堂があり、運営者それぞれの創意工夫によって多様な取り組みが行われていることが小野会長から説明されました。そのうちの一つである「きつさこイペ」は、栄養士や保育士の資格をもつ加藤代表の「子育て世代を応援したい。働く保護者の家事負担を減らし、幅広い世代が集える場所を作りたい」という思いから地域食堂を始めたこと

が語られました。「釧路地区食でつながるネットワーク」のさまざまな活動を通して、地域食堂が多世代と地域の未来をつなぐ居場所であると学びました。

心つながる場所へ

後半は「つながり支え合う場所を目指して」として、阿寒かぞく食堂「おかえり」石川善道代表に実践報告をいただきました。

阿寒町出身の石川代表は進学を機に阿寒を離れました。のちに帰郷し、改めて地域の独居高齢者の増加を感じたとお話しされ「相手に心を寄せ、孤独にさせない」というつながりの大切さを実感したことをきっかけに地域食堂を開始しました。

平成三十年に第一回目を開催した際、参加者のほとんどが高齢者だったことから、参加しやすい日曜日のお昼へと時間を変更し、地域の実情に合わせた柔軟な運営を行ってきました。令和二年には新型コロナウイルス感染症の流行により中止を余儀なくされることもありましたが、集まって食事ができない代わりを持ち帰りや配達などの方法を取り入れ、地域とのつながりを絶やさないようにと根気強い活動を続けてこられました。五周年を迎え、ますます賑わいを見せるなか今後は大人から

子どもまで楽しめる行事や、地域の方が特技や趣味を活かして参加できる企画を考えたいとのこと。また実践報告の後は、体験の一環として「おかえり」のカレーライスが振る舞われました。

参加者からは「地域食堂の存在は知っていたが、詳しいことは初めて聴いた」「お客さんとしてもお手伝いとしても、参加することで一緒に盛り上げていきたい」などの感想が聞かれました。

参加者が我が家に帰ってきたと思えるような、アットホームな居場所になりたいという願いがこもった「おかえり」へ、一度遊びに来てみませんか？

阿寒かぞく食堂「おかえり」

会場：富士見1-1-41（天理教阿寒分教会内）
電話：66-1088
開催日：月1回（概ね第3または第4の土日いずれか）
料金：大人300円、中学生以下200円
未就学児100円

会場での配膳や、配達のお手伝いを募集しています。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

ボランティア情報局

ボランティアセンター
阿寒から配信!!

心温まる善意を
ありがとうございます!

令和6年4月9日現在

◆皆様からお寄せいただいた預託金や物品は地域福祉の向上のために役立たせていただいております。

■寄付預託金

一金 30,000円
阿寒女性ボランティアの会様
社会福祉事業に対するご寄付として

一金 38,484円
阿寒サイクリング協会様
解散に伴う、社会福祉事業に対するご寄付として

■物品預託

匿名 布団カバー、シーツ
菅原アサ子様 タオル
荒井 義章様 紙おむつ

■未使用切手

4枚 匿名
1枚 匿名
1枚 阿寒の森鶴雅リゾート花ゆう香様
30枚 匿名
7枚 中村スミ工様

■書損じハガキ

20枚 阿寒女性ボランティアの会様

■未使用ハガキ

6枚 匿名
56枚 匿名
19枚 匿名
3枚 匿名

■使用済カード

15枚 匿名
9枚 匿名

■ベルマーク

46枚 匿名
35枚 匿名
229枚 釧路市立認定こども園阿寒幼稚園様
5枚 阿寒の森鶴雅リゾート花ゆう香様

収集ボランティア情報

令和6年4月9日現在

◆多くの皆様からお寄せいただいた「収集ボランティア活動」をご紹介します。

■使用済み切手

389枚 匿名
43枚 釧路市立認定こども園阿寒幼稚園様
434枚 阿寒の森鶴雅リゾート花ゆう香様
246枚 匿名
935枚 中村スミ工様

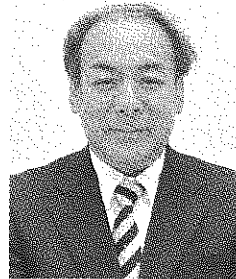
阿寒支所でお預かりしました切手・ハガキ類・使用済みカード類は、福祉楽歩クラブの皆さんのご協力で集計していただいた後、「公益財団法人緑の地球防衛基金」(東京都)や「NPO法人札幌いちご会」(札幌市)に送付しています。

緑の地球防衛基金では、それらをコレクターに売却し、その益金が海外での植林活動(苗木の購入代)に役立てられています。札幌いちご会では、書き損じハガキを郵便局へ持ち込んで新品の切手やハガキに換え、それを企業などに販売することによって得た売上金を障がい者支援の活動資金(広報費、講演活動費)としています。

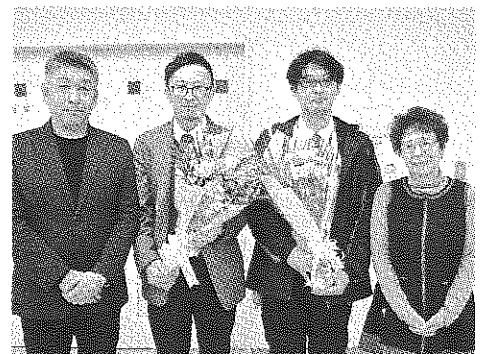
慶弔のお返しにかえて、結婚・出産等を記念して、地域福祉の推進のために、皆様方のご厚情をお待ちしています。

新職員のご紹介

前任の齋藤支所長に変わり、4月1日付けで阿寒支所長として着任しました細川です。私は社協30年のうち直近20年在宅福祉課に所属し、主に介護保険事業を担当していましたので、社協の地域福祉事業から遠ざかっていました。今後は地域の皆様よりご指導いただきながら阿寒の地域福祉を推進して参りたい所存です。当面は介護支援専門員と兼務して参ります。どうぞよろしくお願い致します。



支所長 細川 克裕
(令和6年4月1日異動)



▲齋藤支所長と鳥谷部主事を送るセレモニー

4月1日付の人事異動で支所長補佐に就任しました。4年ぶりに阿寒支所での勤務となります。

本所での経験を活かし、阿寒地域の住民の皆様が、安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりに努めてまいりたいと思いますので、引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願い致します。



支所長補佐
苅野 穰
(令和6年4月1日異動)



デイサービス看護師
山崎 由佳
(令和6年4月1日異動)



デイサービス運転手
大森 修二
(令和6年4月1日採用)